

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働の推進に関する事業
事業主体 (連絡先)	ねば杉っ子餅 (原 小夜子 0265-49-2120)
事業区分	(Iターン女性のパン工房)
事業タイプ	ソフト
総事業費	714,000 円 (うち支援金: 560,000 円)

事業内容

Iターン者の奥さんや、村外からのお嫁さん達(10人位)が、加工所のオープンを利用して手作りのパン、ケーキ、クッキー、を皆さんの持っている知識とアイデアで試作品を協働で作り、村内の各事業所や、ネパールで村外の皆さんにも試食してもらい、またアンケートをとって感想をお聞きし、商品化を推進する。村外からパン屋さんの行商が入っているので、村内の需要はかなりあると思われまます。これまで村ではパン屋さんがなく、できたての手作りのパン、ケーキやクッキー作りは初めての試みです。ねば杉っ子餅の、きのこおこわや大福等と一緒にネパールを中心にして販売をしていきます。



自己評価 (事業実施率)

【 A 】

事業効果

- ・従来の杉っ子の会員に、若い村外からのお嫁さんや、中国からのお嫁さんが加わって協働でパンやクッキーを作り、年代や国境を越えた交流が盛んにできました。
- ・根羽村の天然記念物「ネバタゴガエル」の観光客誘致も兼ね、カエルの顔をクッキーにし、村内から名前を募集し「ネバタゴン」として販売することができました。
- ・長野県産の小麦粉(夢あさひ)や(華梓)を使用した食パンを、村内で試食していただいたところとても好評で、一度に作る18斤の食パンは、すぐ完売になるほどです。
- ・クッキーやパンが、従来の杉っ子の商品に加わったことにより、幅広いお客さんとの交流が可能となり、長野市を始め、刈谷市、安城市、瀬戸市、守山区、名古屋まつりなど村外での対面販売を盛んにすることができました。

今後の取り組み

今回、県内産小麦粉を使用した食パンが好評でしたので、高性能のミキサーと発酵機を導入して、商品化を進め、定期的な販売の実現と保育園や学校へ安心安全の食の提供をして行く。また、小麦粉の高騰などで導入が困難を来す時に備え、地元産の米を使用した米粉パンの製造に取り組んでいきます。

【目標・ねらい】

- Iターン女性の交流
- 天然記念物で観光客誘致
- 安全安心の食の提供
- 村内外での対面販売の促進

自己評価 (目標達成率)

【 B 】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。